

ナースのための

くすりの事典

2025

編集

細谷 治

執筆

安野伸浩 渡部多真紀 光永義治  
武井優輝 大竹三保 石田耕太

へるす出版

---

# はじめに

「今年もやっぱりこの1冊！」を目指して、『ナースのためのくすりの事典』の編集をしています。看護学生だけでなく、臨床現場の看護師にとっても必要な情報をわかりやすく届けることができればとの思いで、著者共々、執筆・編集に力を注いで参りました。

本邦では毎年多くの医薬品が承認されていますが、近年、ドラッグロスが問題視されています。2019～2023年に米国で承認された医薬品のうち、国内未承認であった医薬品は2023年末の時点で164品目でした。このうち、同時期に国内で開発中の医薬品は77品目であり、米国で新規承認されている医薬品の半数以上が国内では使用できない状況にありました。これら国内で開発が未着手となっている医薬品の内訳は、希少疾病用医薬品やベンチャー発の医薬品に加え、小児用医薬品の割合がとりわけ多いようです。また、国内で開発が進まない原因として治験の困難さが指摘されています。そのため国は国際共同治験の推進や治験環境の整備などに着手しています。さらに、希少疾病用医薬品は欧米に比べその指定時期が遅いことから、早期段階で指定できるよう運用の見直しを検討したり、小児用医薬品の開発を促すために、成人用を開発する段階で製薬企業に小児用医薬品の開発計画の策定を促すなど、ドラッグロスの解消に向けて体制を整備しています。こういったことから、今後、国内の医薬品開発は活発化し、新薬の数も増えていくでしょう。

そのような状況下、医薬品の使用方法はますます複雑化していく傾向にあります。さらに想像を超えるような高薬価医薬品も上市されています。このようなときにこそ、薬を効率的に使用することが求められます。本書は「与薬時における一般的な注意事項」や「患者さんが正しく服用するための指導・助言の仕方」「与薬後の注目すべき観察事項」「注意すべき特定患者」など、現場の看護師のニーズに合った内容が盛り込まれています。

本書が将来看護の現場で活躍が期待される学生や現職の看護師の方々のお役に立てれば幸いです。

最後に今年も本書の改訂に並々ならぬ忍耐力をもって、われわれ著者の面々を支えていただきましたへるす出版編集部に、心より感謝いたします。

2024年12月

細谷 治

# ナースのためのくすりの事典 2025

## 目次

### 精神科用薬

1

催眠・鎮静薬	1
1. バルビツール酸系催眠・鎮静薬	1
2. ベンゾジアゼピン系催眠・鎮静薬	3
3. ベンゾジアゼピン系睡眠薬	5
4. メラトニン受容体作動薬	5
5. オレキシン受容体拮抗薬	6
6. その他の催眠・鎮静薬	6
抗不安薬	7
1. ベンゾジアゼピン系抗不安薬	8
2. チエノジアゼピン系抗不安薬	10
3. その他の抗不安薬	10
抗精神病薬	11
1. フェノチアジン系製剤	11
2. ブチロフェノン系製剤	12
3. ベンザミド系抗精神病薬	13
4. セロトニン・ドパミン遮断薬	14
5. 多元受容体作用抗精神病薬	17
6. ドパミン受容体部分作動薬	20
7. その他の抗精神病薬	22
抗うつ薬・抗躁薬・精神刺激薬	22
1. 抗うつ薬	22
1) 三環系抗うつ薬	23
2) 四環系抗うつ薬	25
3) 選択的セロトニン再取込み阻害薬	25
4) セロトニン・ノルアドレナリン再取込み阻害薬	27
5) ノルアドレナリン作動性・特異的セロトニン作動性抗うつ薬	29
6) セロトニン再取込み阻害・セロトニン受容体調節薬	29
7) その他の抗うつ薬	30
2. 抗躁薬	30
3. 精神刺激薬	30
4. 選択的ノルアドレナリン再取込み阻害薬(精神刺激薬)	33

### 神経科用薬

34

抗てんかん薬	34
筋弛緩薬	46
1. 中枢性筋弛緩薬	46
2. 末梢性筋弛緩薬	47
1) 麻酔・手術用注射薬	47

2) 悪性高熱症・悪性症候群治療薬	48
抗眩暈薬	48
1. 脳血管拡張薬	48
2. その他の抗眩暈薬	49
パーキンソン病治療薬	49
1. レボドパ含有製剤(L-dopa 製剤)	49
2. モノアミン酸化酵素(MAO-B)阻害薬	53
3. ドパミン受容体刺激薬	54
4. 抗コリン薬	58
5. レストレスレッグス症候群治療薬	59
6. その他のパーキンソン病治療薬	59
自律神経作用薬	62
1. 消化管機能促進薬	62
2. 筋無力症治療薬	62
3. 鎮痙薬, 粘膜分泌抑制薬	64
1) 抗コリン薬	64
2) その他の鎮痙薬, 粘膜分泌抑制薬	64
4. その他の自律神経作用薬	65
脳循環・脳代謝改善薬	70
1. 脳循環改善薬	70
2. 脳代謝改善薬	71
3. その他	71
認知症治療薬	72
1. コリンエステラーゼ阻害薬	72
2. NMDA 受容体拮抗薬	73
3. ヒト化抗ヒト可溶性アミロイド $\beta$ 凝集体モノクローナル抗体 レカネマブ製剤(遺伝子組換え)	74

## 解熱・鎮痛・抗炎症薬

75

非麻薬性鎮痛薬	75
1. 非麻薬性鎮痛薬	75
2. 配合薬	77
解熱・鎮痛薬	78
1. 非ピリン系解熱・鎮痛薬	78
2. ピリン系解熱・鎮痛薬	79
3. 合剤	79
1) ピリン系解熱・鎮痛薬	79
2) 非ピリン系解熱・鎮痛薬	80
片頭痛治療薬	80
1. トリプタン系製剤	80
2. カルシウム拮抗薬	82
3. その他の片頭痛治療薬	83
非ステロイド性抗炎症薬	84
1. 酸性非ステロイド性抗炎症薬	84
1) サリチル酸系製剤	84

2) その他の酸性非ステロイド性抗炎症薬	85
2. 中性非ステロイド性(コキシブ系)抗炎症薬	90
3. 塩基性非ステロイド性抗炎症薬	91
4. その他	91
<b>抗リウマチ薬</b>	<b>94</b>
1. 免疫調節薬	94
2. 免疫抑制薬	96
3. ヤヌスキナーゼ阻害薬(JAK 阻害薬)	98
4. 生物学的製剤	101
<b>循環器用薬</b>	<b>107</b>
強心薬	107
1. ジギタリス製剤	107
2. カテコールアミン系薬剤	107
3. ホスホジエステラーゼⅢ阻害薬(PDEⅢ阻害薬)	110
4. 心房性Na利尿ペプチド製剤	111
5. HCN チャネル遮断薬	112
6. その他の強心薬	112
冠血管拡張薬	113
1. 亜硝酸薬	113
2. 硝酸薬	113
3. その他の冠血管拡張薬	116
カルシウム拮抗薬	117
1. ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬	118
2. 非ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬	119
3. 持続性カルシウム拮抗薬・HMG-CoA 還元酵素阻害薬	121
$\beta$ 遮断薬	121
1. $\beta_1$ 非選択性 $\beta$ 遮断薬	122
2. $\beta_1$ 選択性 $\beta$ 遮断薬	123
3. $\alpha_1$ ・ $\beta$ 遮断薬	125
4. 血管拡張作用を有する $\beta$ 遮断薬	126
抗不整脈薬	126
利尿薬	136
1. チアジド系利尿薬	137
2. ループ利尿薬	137
3. カリウム保持性利尿薬	138
4. バソプレシン拮抗薬	140
5. その他の利尿薬	141
降圧薬	142
1. 中枢性交感神経抑制薬	142
2. $\alpha$ 遮断薬	143
3. アンジオテンシン変換酵素阻害薬(ACE阻害薬)	144
4. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬	148
5. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬・利尿薬配合薬	150

6. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬・カルシウム拮抗薬配合薬	151
7. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬・カルシウム拮抗薬・利尿薬 配合薬	151
8. 血管拡張薬	152
9. その他	152
末梢血管拡張薬	155
昇圧薬	157
1. カテコールアミン系薬剤	157
2. 交感神経刺激性アミン剤	158
3. その他の昇圧薬	159
肺動脈性肺高血圧症治療薬	159
1. ホスホジエステラーゼ5(PDE5)阻害薬	159
2. エンドセリン受容体拮抗薬	160
3. 可溶性グアニル酸シクラーゼ刺激薬	161
4. プロスタグランジン <sub>I<sub>2</sub></sub> 誘導体制剤	162
脂質異常症(高脂血症)用薬	163
1. HMG-CoA還元酵素阻害薬(スタチン系)	163
2. フィブラート系薬剤	166
3. プロブコール製剤	167
4. 陰イオン交換樹脂製剤	168
5. ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤	168
6. ミクロソームトリグリセリド転送蛋白質(MTP)阻害薬	169
7. その他の高脂血症用薬	170
8. 配合薬	170
9. ヒト化抗ANGPTL3モノクローナル抗体製剤	171

## 呼吸器用薬

172

呼吸促進薬	172
1. 呼吸刺激薬	172
2. 麻薬拮抗薬	173
気管支拡張薬	173
1. $\beta$ 刺激薬	173
2. キサンチン系薬剤	176
3. 抗コリン薬	177
気管支喘息治療薬	178
1. 副腎皮質ホルモン吸入薬(吸入ステロイド薬)	178
2. 長時間作用性吸入 $\beta_2$ 受容体刺激薬・ステロイド吸入薬	180
3. 長時間作用性抗コリン薬・長時間作用性 $\beta_2$ 受容体刺激薬	180
4. 吸入ステロイド薬・長時間作用性吸入抗コリン薬・ 長時間作用性吸入 $\beta_2$ 受容体刺激薬	181
5. 分子標的治療薬	186
鎮咳薬	189
去痰薬	191

<b>消化器用薬</b>	<b>193</b>
消化性潰瘍治療薬	193
1. ヒスタミン H <sub>2</sub> 受容体拮抗薬	193
2. プロトンポンプ阻害薬	195
3. カリウムイオン競合型アシッドプロトンポンプ阻害薬	197
4. プロスタグランジン製剤	198
5. 選択的ムスカリン受容体拮抗薬	198
6. 胃粘膜局所麻酔薬	198
7. 制酸薬	198
8. 潰瘍病巣保護薬	200
9. 組織修復促進薬	200
10. 粘液産生・分泌促進薬	200
11. 胃粘膜微小循環改善薬	200
12. ヘリコバクター・ピロリ除菌薬	201
13. その他	202
健胃・消化薬	202
胃腸機能調整薬	202
5-HT <sub>3</sub> (セロトニン)受容体拮抗型制吐薬	204
ニューロキニン1受容体拮抗薬	206
下剤・浣腸剤	206
止痢・整腸薬	214
利胆薬	215
1. 催胆薬	215
2. 排胆薬	216
睪炎治療薬	216
潰瘍性大腸炎治療薬	218
<b>糖尿病薬</b>	<b>224</b>
インスリン製剤	227
経口血糖降下薬	231
1. スルホニル尿素系血糖降下薬	231
2. ビグアナイド系血糖降下薬	232
3. 速効型インスリン分泌促進薬	233
4. インスリン抵抗性改善薬(チアゾリジン誘導体)	233
5. 食後過血糖改善薬( $\alpha$ グルコシダーゼ阻害薬)	234
6. 選択的DPP-4(dipeptidyl peptidase-4)阻害薬	235
7. SGLT2阻害薬	237
8. ミトコンドリア機能改善薬	238
9. 配合薬	239
インクレチン製剤(GLP-1アナログ)	239
GIP/GLP-1受容体作動薬	242
糖尿病性末梢神経障害治療薬	242
高インスリン血性低血糖治療薬	243

<b>ホルモン製剤</b>	<b>244</b>
脳下垂体ホルモン薬	244
蛋白同化ステロイド薬	249
副腎皮質ホルモン薬(ステロイド薬)	249
1. 鉱質コルチコイド	250
2. 糖質コルチコイド	250
1) コルチゾン・ヒドロコルチゾン製剤	252
2) プレドニゾロン製剤	252
3) メチルプレドニゾロン製剤	253
4) トリアムシノロン製剤	254
5) デキサメタゾン製剤	254
6) ベタメタゾン製剤	255
7) 配合薬	256
性ホルモン製剤	256
卵胞ホルモンおよび黄体ホルモン製剤	256
1) 卵胞ホルモン(エストロゲン)製剤	256
2) 黄体ホルモン(プロゲステロン)製剤	258
3) 卵胞・黄体ホルモン配合薬	259
その他のホルモン薬	261
副腎皮質ホルモン合成阻害薬	267
<b>甲状腺疾患用薬</b>	<b>268</b>
甲状腺ホルモン薬	268
抗甲状腺薬	268
<b>腎疾患用薬</b>	<b>270</b>
腎性貧血治療薬	270
1. ヒトエリスロポエチン製剤(遺伝子組換え)	270
2. 持続型エリスロポエチン製剤	270
3. HIF-PH 阻害薬	274
副甲状腺機能亢進症治療薬	276
高リン血症治療薬	278
尿毒症治療薬	281
高カリウム血症治療薬	281
そう痒症治療薬	283
その他の腎疾患用薬	283
<b>眼科用薬</b>	<b>285</b>
1. 緑内障治療薬	285
1) 副交感神経作動薬(縮瞳薬)	285
2) 交感神経作動点眼薬	285
3) $\beta$ 遮断点眼薬	285
4) $\beta$ 受容体・ $\alpha_1$ 受容体遮断点眼薬	286
5) プロスタグランジン点眼薬	287

6) Pho キナーゼ阻害点眼薬	288
7) 炭酸脱水酵素阻害点眼薬	288
8) 選択的 EP2 受容体作動薬	288
9) 配合点眼薬	289
10) その他	289
2. 白内障治療点眼薬	289
3. ステロイド点眼薬	289
4. 抗菌点眼薬	291
5. 抗ウイルス点眼薬	292
6. 調節麻痺・散瞳点眼薬	292
7. 抗アレルギー点眼薬	293
8. ドライアイ改善薬	293
9. 非ステロイド性抗炎症薬	294
10. 眼科用 VEGF 阻害薬	294
11. その他の眼科用薬	296
12. ホウ酸・無機塩類配合液	296

**耳鼻咽喉科用薬** 297

1. 血管収縮点鼻薬	297
2. ステロイド点鼻薬	297
3. 抗菌点鼻・点耳薬	298
4. 抗アレルギー点鼻薬	299
5. 鼓膜穿孔治療薬	299

**泌尿器(生殖器)用薬** 300

1. 前立腺肥大症治療薬	300
2. 頻尿・過活動性膀胱治療薬	302
3. その他の泌尿器科用薬	304

**子宮用薬** 306

1. マグネシウム製剤	306
2. $\beta$ 刺激薬	306

**ビタミン製剤** 308

ビタミン D 製剤	308
ビタミン B <sub>1</sub> 製剤	310
ビタミン B <sub>2</sub> 製剤	310
ビタミン B <sub>6</sub> 製剤	310
ビタミン B <sub>12</sub> 製剤	311
混合ビタミン B 剤	311
葉酸	311
パントテン酸製剤	312
ビタミン E 製剤	312
ビタミン K 製剤	312

**輸液・電解質製剤・栄養剤** 314

輸液用製剤	314
1. 糖質製剤	314
2. 血漿増量剤	315
1) ヒドロキシエチルデンプン含有剤	315
2) デキストラン 40 含有製剤	316
3. 高カロリー輸液用基本液	316
4. 高カロリー輸液用アミノ酸・糖・電解質液	319
5. ダブルバッグ高カロリー輸液用アミノ酸・糖・脂肪・電解質液	319
6. 高カロリー輸液用総合ビタミン・糖・アミノ酸・電解質液	321
7. 高カロリー輸液用糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・ 微量元素液	323
8. 高カロリー輸液用総合ビタミン剤	324
9. 高カロリー輸液用微量元素製剤	326
10. その他	326
電解質製剤	327
1. 電解質補液製剤	327
2. 補正用電解質製剤	327
栄養剤	334
1. 静注用脂肪乳剤	334
2. アミノ酸製剤	335
3. 末梢静脈栄養用輸液製剤(糖・電解質・アミノ酸配合製剤)	335
4. 病態別アミノ酸製剤	335
5. 浸透圧利尿薬	335

**代謝性医薬品** 344

カルシトニン製剤	344
ビスホスホネート製剤(骨代謝改善薬)	344
1. 注射剤	344
2. 内服剤	347
1) 第一世代ビスホスホネート製剤	347
2) 第二世代ビスホスホネート製剤	347
選択的エストロゲン受容体モジュレーター	350
抗 RANKL モノクローナル抗体	350
ヒト化抗スクレロスチンモノクローナル抗体	352
副甲状腺ホルモン製剤	352
その他の代謝性医薬品	353

**造血と血液に作用する薬剤** 357

造血薬	357
鉄製剤	357
1) 内服用鉄製剤	357
2) 静注用鉄製剤	358
白血球減少症治療薬	359

1. G-CSF 製剤	
【遺伝子組換えヒト顆粒球コロニー刺激因子(rhG-CSF)】	359
2. 持続型 G-CSF 製剤	362
血小板減少症治療薬	362
止血薬	364
抗血栓薬	366
1. 血小板凝集抑制薬(抗血小板薬)	366
2. ヘパリン製剤と抗ヘパリン製剤	372
1) ヘパリン製剤	372
2) 低分子ヘパリン製剤	374
3) ヘパリノイド	375
4) 抗ヘパリン製剤	376
3. 経口抗凝固薬	376
1) 経口直接第 Xa 因子(活性化血液凝固第 X 因子)阻害薬	376
2) ワルファリン	380
3) トロンビン直接阻害薬	381
4. 血栓溶解薬	382
1) ウロキナーゼ製剤	382
2) 組織性プラスミノゲンアクチベータ(t-PA)製剤	383
5. その他の抗血栓薬	386
その他の造血と血液に作用する薬剤	388

## 無機質製剤 395

カリウム製剤	395
カルシウム製剤	396
リン製剤	397
カルシウム/天然型ビタミン D <sub>3</sub> /マグネシウム配合剤	397

## 肝疾患治療薬 398

B 型肝炎治療薬	398
1. 核酸アナログ製剤	398
2. インターフェロン	400
C 型肝炎治療薬	400
1. 直接作用型抗ウイルス薬	400
2. リバビリン製剤	401
3. インターフェロン	403
その他の肝疾患治療薬	403

## 痛風・高尿酸血症治療薬 407

発作寛解薬	407
高尿酸血症治療薬	407
1. 尿酸生成抑制薬	408
2. 尿酸排泄促進薬	409
3. 酸性尿・アシドーシス改善薬	410
4. その他	410

<b>消炎酵素製剤</b>	<b>411</b>
<b>免疫抑制薬</b>	<b>412</b>
<b>抗がん薬</b>	<b>423</b>
アルキル化薬	424
代謝拮抗薬	430
1. ピリミジン代謝拮抗薬	431
1) フルオロウラシル系薬剤	431
2) シトシン系薬剤	435
3) 抗がん性抗生物質, シトシン系薬剤合剤	437
2. プリン代謝拮抗薬	437
3. 葉酸代謝拮抗薬	438
4. その他の代謝拮抗薬	440
抗がん性抗生物質	442
トポイソメラーゼ阻害薬	447
タキサン系抗がん薬	449
アルカロイド系抗がん薬	453
免疫賦活薬	456
1. インターフェロン	456
2. その他の免疫賦活薬	459
ホルモン系製剤	460
白金(プラチナ)製剤	465
分子標的治療薬	469
その他の抗がん薬	525
血管外漏出治療薬	528
がん悪液質治療薬	528
<b>アレルギー性疾患治療薬</b>	<b>530</b>
抗ヒスタミン薬	530
抗アレルギー薬	530
1. メディエータ遊離抑制薬	531
2. ヒスタミン H <sub>1</sub> 受容体拮抗薬	531
3. ヒスタミン H <sub>1</sub> 受容体拮抗薬・ $\alpha$ 交感神経刺激薬配合薬	534
4. トロンボキサン A <sub>2</sub> 阻害薬	534
1) トロンボキサン A <sub>2</sub> 合成酵素阻害薬	534
2) トロンボキサン A <sub>2</sub> 受容体拮抗薬	535
5. ロイコトリエン受容体拮抗薬	535
6. Th2サイトカイン阻害薬	535
7. ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害薬	536
非特異的刺激療法薬	536
その他のアレルギー性疾患治療薬	537
<b>抗菌薬</b>	<b>540</b>
抗生物質	541
1. $\beta$ ラクタム抗生物質	541

1) ペニシリン製剤	542
2) セフェム系製剤	544
3) モノバクタム系抗生物質	550
4) $\beta$ ラクタマーゼ阻害薬配合薬	551
5) カルバペネム系抗生物質	553
6) ペネム系抗生物質	556
2. アミノ配糖体系抗生物質	556
1) 抗結核作用を有するアミノ配糖体系抗生物質	557
2) 抗緑膿菌作用を有するアミノ配糖体系抗生物質	558
3) その他のアミノ配糖体系抗生物質	559
3. マクロライド系抗生物質	559
4. リンコマイシン系抗生物質	562
5. テトラサイクリン系抗生物質	563
6. ホスホマイシン系抗生物質	565
7. その他の抗生物質	565
合成抗菌薬	569
ニューキノロン系製剤	569
抗結核薬	574
その他	578

## 抗真菌薬 580

深在性真菌症治療薬	580
深在性・表在性真菌症治療薬	584
ニューモシスチス肺炎治療薬	587

## 抗寄生虫薬 589

### 抗ウイルス薬 593

インフルエンザ治療薬	593
新型コロナウイルス感染症治療薬	596
抗ヘルペスウイルス薬	598
抗サイトメガロウイルス薬	601
抗RSウイルス薬	603
抗RSウイルスヒトモノクローナル抗体製剤	603
その他の抗ウイルス薬	604
HIV 感染症治療薬	604

## 血漿分画製剤・ワクチン・トキシイド 607

血漿分画製剤	607
1. アルブミン製剤	607
2. 静注用人免疫グロブリン製剤	607
3. 筋注用人免疫グロブリン製剤	610
4. 皮下注用人免疫グロブリン製剤	611
ワクチン, トキシイド	612
その他の生物学的製剤	616

**麻 薬** 618

アヘンアルカロイド系麻薬	620
非アルカロイド系麻薬	624

**皮膚科用薬** 633

外用殺菌消毒薬	633
副腎皮質ホルモン外用剤(ステロイド外用剤)	636
乾癬治療薬	637
その他の皮膚科用薬	643

**歯科・口腔用薬** 645**診断用薬** 647

1. 肝機能検査薬	647
2. 腎機能検査薬	647
3. 下垂体機能検査薬	648
4. その他の診断用薬	648

**中毒治療薬** 650

1. 薬物吸着薬	650
2. 拮抗薬	650
1) 有機リン類拮抗薬	650
2) 麻薬中毒治療薬	650
3) ベンゾジアゼピン受容体拮抗薬	650
4) その他の拮抗薬	650
3. 解毒薬	651
4. アルコール依存症治療薬	653
5. その他の中毒治療薬	654

**漢方薬** 656**生活改善薬** 660

1. 経口避妊薬(低用量ピル)	660
2. 緊急避妊薬	662
3. 勃起不全治療薬	662
4. 男性型脱毛症用薬	663

**重大な副作用の症状と処置方法** 664**薬物中毒の症状と処置方法** 669**注射剤血管外漏出の予防・漏出後の処置について** 671**< Q&A >** 672**I. 服用時間**

- 「食前」、「食後」、「食間」などの服用時間はいつのことですか？

## II. 服薬を忘れたとき

- 薬を飲み忘れた場合、今からすぐ飲んだほうがよいですか？ それとも、とばしてしまうのですか？ またその場合、次回に倍飲むのですか？

## III. 服薬方法

- 薬を水なしで飲んではいけませんか？ また薬を水以外(お茶、牛乳、ジュースなど)で飲んででもいいのですか？

## IV. 剤形

- 内服薬にはさまざまな剤形があるのですが、それぞれの特徴を教えてください。

## V. 薬の保管

- 薬の保管温度の表示で「冷所保存」とは何℃のことですか？
- 薬にも使用期限があるのですか？

## VI. 体内動態

- 蛋白結合率とは？
- 生物学的半減期 (biological half-life :  $T_{1/2}$ ) とは？
- プロドラッグ (prodrug) とは？
- 代謝、排泄ってどういうことですか？
- 血中濃度測定はどのようにして必要なのですか？

## VII. アレルギー、アナフィラキシー

- 以前使用した抗菌薬をまた使用する場合、ショックやアレルギーの心配はないですか？
- アスピリン喘息とは？

## VIII. 坐剤

- 熱性痙攣の場合、2種類以上の坐剤を同時に使用してもよいですか？
- ダイアアップ坐剤を挿入して10分ほどして、坐剤が便の中に出たのですが、もう薬の成分は溶け出している(追加は必要ない)と考えてよいでしょうか？
- 坐剤を使用する際に気をつけることは何でしょうか？

## IX. 注射関連

- ポリ塩化ビニル (PVC) 製の容器・器具を使用するときの注意は？
- ポリカーボネイト樹脂製の器具を使用するときの注意は？
- 輸液フィルターはなぜ必要なのですか？
- プラスチックの点滴容器に油性マジックで患者名や医薬品名などを記入してもよいのですか？
- 蒸留水を注射するとなぜ溶血が起きるのですか？

## X. ワクチン

- インフルエンザワクチンの効果的な接種時期はいつがよいですか？
- インフルエンザ予防接種の回数と接種量を教えてください。
- ニューモバックス<sup>®</sup>NP (23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン) 肺炎球菌ワクチンの効果の持続期間は何年ですか？
- 肺炎球菌ワクチンの接種回数は？
- トキシイドとは？
- 抗毒素とは？
- 生ワクチンとはどんなものですか？
- 不活化ワクチンとはどんなものですか？

## XI. その他

- ジェネリック医薬品 (generic drug : 後発医薬品) とは？
- スイッチ OTC とはどういうことですか？
- バイオシミラーとは？